

---

# 忘却の癒し

唐務新斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

忘却の癒し

### 【コード】

N6751Q

### 【作者名】

唐務新斗

### 【あらすじ】

愛した女に手ひどくふられ、心に傷を負った男に起こった奇跡の物語

彼女に二股をかけられていた。いや、初めから彼女にとっては彼など恋愛の対象にすらなっていないかった。ただの都合の良い男に過ぎなかったと、彼女自身の口から冷たい言葉を浴びせられた。拳句に、もう二度と会わないと告げられて一方的に携帯を切られる。

それっきり、彼女とは連絡が取れない。彼女はとくにマンションを引き払っていた。おそらく、本命の彼氏と同棲中なのだろう。いや、もしかしたら結婚したのかもしれない。そう思うと、彼は見たことも無いその男に対し、気が狂いそうなほどの嫉妬と殺意を覚えた。しかし、その感情をぶつける場所はどこにもない。

彼は、これは悪い夢かと何度も思おうとし、頬をつねったが、痛みは純粹に現実のものだった。

つまるるところ、もの見事に彼は失恋してしまったのだ。

失意という沼の中で、彼はもがき続ける。なんだよ、あの女、と彼は心の中で毒づいた。あなただから、あなただけだから、そんな甘い言葉を俺に向かって何度も囁きかけたあの言葉はまったくの嘘。何も気づかない鈍感な男だと心の中でせせら笑いながら、素知らぬ顔で俺を弄んでいたのだ。そんな最低な女なんてこっちがお断りだ。と、そう強がってはみたものの、結局、未練を残しているのは彼の方なのだ。喪失感はあまりに大きい。彼女にとっては遊びでも、彼にとっては純粹な恋愛だった。

彼女を失った分だけ心に大穴が空いてしまったのに、それでも胸が苦しいほど重いのはなぜだろう。

寒空の中、彼は背中を曲げて町をあてもなくさ迷い歩く。冷たい風が容赦なく吹きつけてくる。コートの中に手を突っ込み、彼はもはや何の役にも立たないマンションの合鍵を握りしめる。

ああ。

彼は深々とため息をつく。

忘れない。忘れてしまいたい。なにかも。  
なにを？ 決まっている。

彼女のことを。彼女に関する全てのことを。彼女と過ごした甘い時間も、彼女の好きな食べ物も、彼女の好きなアーティストことも、そもそも彼女が存在したという記憶すら……。

こんなもの、いらない、忘れない。

強く、彼は願った。

忘れさせて欲しい。

あの女の枷から解き放たれて、新しい人生を歩みたい。そう彼は切に願い、目をつぶる。前のことなど、見てなかった。凍てついた水たまりがすぐそこにあつたというのに。

こうして彼は足を滑らして転倒する。そして、したたかに頭を打ち付けた。

これは不運な出来事なのか。否、そうとばかりは言えない。

哀れに思った神は、彼の望みを叶えてやることにしたのだろう。

彼の記憶から、彼女に関すること全てを消し去ってやったのだ。

こうして彼は奇麗さっぱり、忘れる事が出来た。

彼女の愛らしい笑顔も、身体の内くもりも、小鳥のさえずりのような笑い声も、彼女が作ってくれた肉じゃがの味も。

そして、彼女の誕生日をも。その日を彼の全財産預けた銀行口座のパスワードの数字に設定していたという事実ごと、忘れ去ってしまった。

(後書き)

忘れると言っつのは神様が与えてくれた癒しの力なのです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6751q/>

---

忘却の癒し

2011年10月8日05時50分発行